

明かりを消して

みんなでひまわりを育てよう。

そして、ひとつの電球に明かりを灯そう。

さあ、みんなの明かりで、おまつりをはじめよう。



ひとりひとりが、ベランダや庭で、ヒマワリを育て、種から採取した油を燃料として、電球をつけるという活動をする提案です。

いくつかの条件を設定し、試算すると、以下に示すようになりました。

福岡市世帯数=652,282 世帯

ヒマワリ 20 本=油 200ml

外灯設置数=3,393,867 基 (全国)⇒福岡県 (1/47 都道府県)=1131289 基

⇒

1kl : 614 時間=0.000200kl : 0.1228 時間 (約 7 分) 点灯可能
県内の外灯のうち、0.5 割の外灯=56564.45 基を点灯すると考える

⇒

80.7 分点灯可能

ひとりひとりが、育てたヒマワリ電球は、およそ 1 時間余り点灯させることができます。

この 1 時間あまりの間、おまつりを開催します。

電気の自給自足は難しいけれど、

ひとりひとりがエネルギーについて考える小さなきっかけになればいいと思います。

